

2020年度 第3回 理事懇談会 抄録

日時： 2020年9月12日（土） 16:20～17:00
場所： WEB会議
出席： 理事： 半田、内山、斉藤、森本
網本、大淵、小川、梶村、清宮、黒澤、佐々木、白石、大工谷、高橋（哲）、
高橋（仁）、田中、谷口、友清、中川、藤澤、松井、山根、吉井
監事： 太田、長澤
欠席者 理事： なし
監事： 辺士名

I. 協議事項

(全1題)

1. オンラインツールを活用した組織運営と会員サービスについて

(大工谷専務理事)

オンラインツールを活用した組織運営と会員サービスについて協議された。

【主な意見】

- ・オンライン配信をするときに著作権の問題がある。教育機関ではないので費用が発生することも多いのではないかと。配慮するようにしてほしい。
- ・カウンセリングという用語は治療的な意味と誤解を与える可能性があるため検討してほしい。キャリアコンサルタントやメンターなどが良いのではないかと。
- ・すべてのことをするとかなり膨大な業務となる。広報センター的な苦情受付なども検討してほしい。
- ・会員サービスの項目について、どのような内容かが重要で、同時的にやりとりができるのか、オンデマンドかなどのテクニカルな問題はあるが、同じ枠にできるものなど少し整理が必要と思う。
- ・コンテンツの充実という視点では魅力的だが、これをどう配信していくかというプラットフォームが重要なポイントではないかと。たとえばアプリでその場での参加受付やポイント授与、個別メッセージの配信、履歴の管理など、マイページに組み込むのかどうか。士会の業務効率、会員のユーザビリティ向上につながると思う。
- 会員専用アプリができれば、会員限定の通貨・ポイントなども導入できるかもしれない。検討したい。
- ・来年度の計画として賛成。今年度中に検討してほしいのが代議員の懇談会。すべてがオンラインになったのでお会いしたりする機会がない。
- ・士会が法人会員となるときに基盤、育成として、代議員、地区を管轄されている方、市区町村の政策を担当している方などと認識を深めていただくツールとして活用してほしい。
- ・管理者ネットワークでうまくいっていないところなど情報を収集している。士会、協会と二重、三重のネットワークでカバーしたい。
- ・組織運営、都道府県士会の理事会などに参加するという記載について、わからなければメールでもやり取りできると思うが、参加する意味、目的は何か。
- 47 都道府県士会の代表が理事会に出てこられるようになればメールでよいかもしれないが、組織体制が変わらない場合には必要だろう。各士会の理事がたくさん集まる場所に協会役員が行くことや、若い会員に話をしてほしいという依頼にこたえるものとしても記載した。
- ・協会・連盟役員の見解交換・情報共有は今年度からでも実施してほしい。

以上